ラジオNIKKEI主催
個人投資家向け会社説明会（2020年12月5日）

開催日：2020年12月5日（土）
会場：TKPガーデンシティ仙台（宮城県）

2020年12月5日に開催されたラジオNIKKEI主催の
個人投資家向け会社説明会に参加いたしました。
当日は約70名の個人投資家の皆様が来場されました。
会社概要、第10次中期経営計画「NEXT1800」、業績、新たな取り組み、
株価・株主様への利益還元について説明いたしました。
内容につきましては、次ページ以降に掲載しておりますのでご覧ください。

個人投資家向け

会社説明会

2020年12月5日

サンワテクノス株式会社

本資料取扱い上の注意点

- この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想見通しの記述が含まれています。

- これらの記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。

- 従いまして、実際の業績等が記載の予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

- 会社概要
- 第10次中期経営計画「NEXT 1800」（進捗）
- 業績について
- 株価・株主様への利益還元について

- 会社概要
- 第10次中期経営計画「NEXT 1800」（進捗）
- 業績について
- 株価・株主様への利益還元について

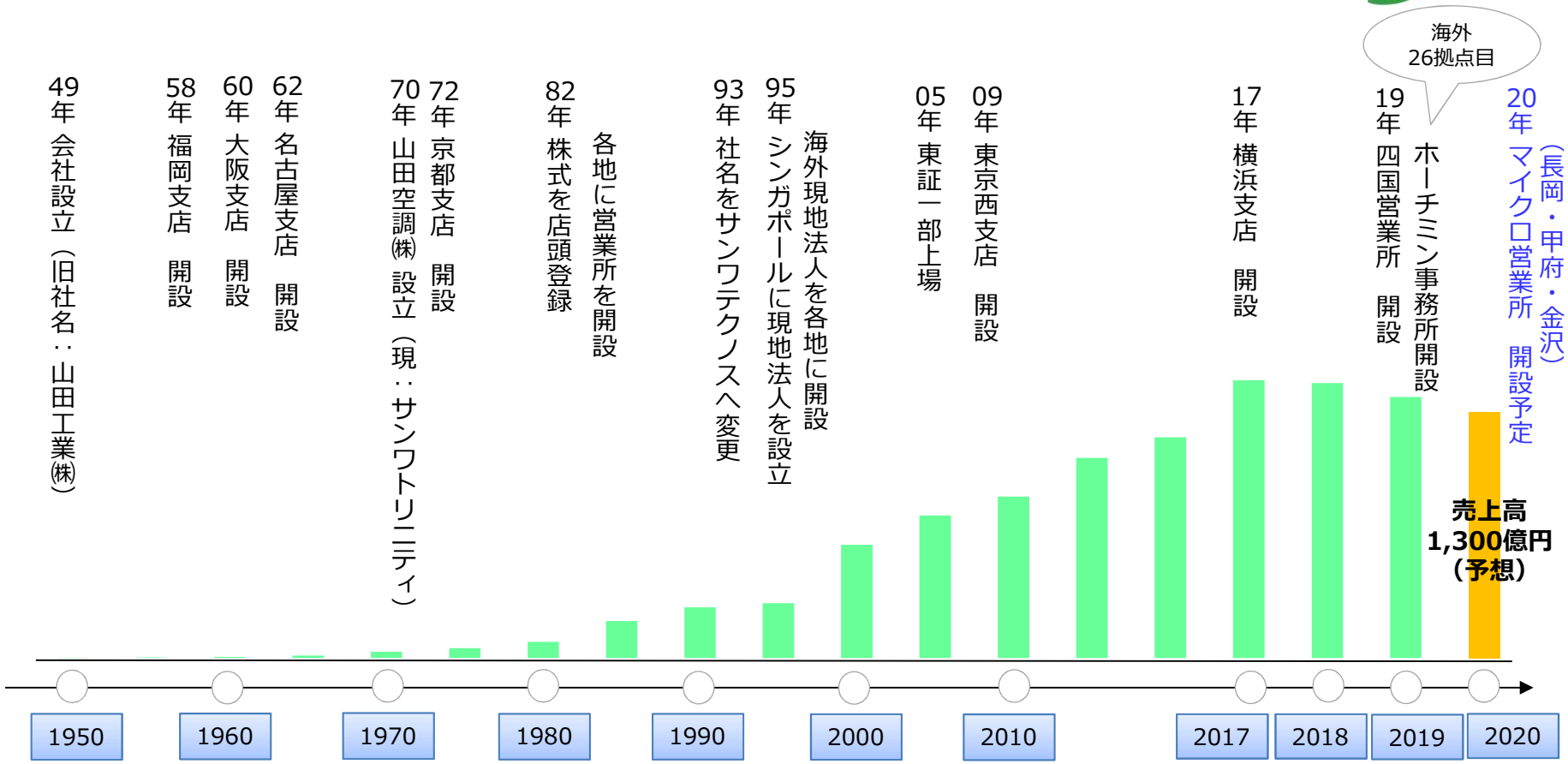
会社概要

社 名	サンワテクノス　株式会社 (SUN-WA TECHNOS CORPORATION)
設 立	1949年11月4日
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18Ｆ
代 表 者	代表取締役社長　田中 裕之
株 式 上 場	東京証券取引所第一部（8137）
資 本 金	37億2,700万円 (2020年9月末日現在)
従 業 員	連結1,053名　単体611名 (2020年9月末日現在)
社 是	人を創り　会社を興し　社会に尽くす
事 業 内 容	産業用エレクトロニクス・メカトロニクス関連の 装置・機器・部品を取扱う独立系技術商社

本社（東京スクエアガーデン）

会社概要（沿革）

SUNWA

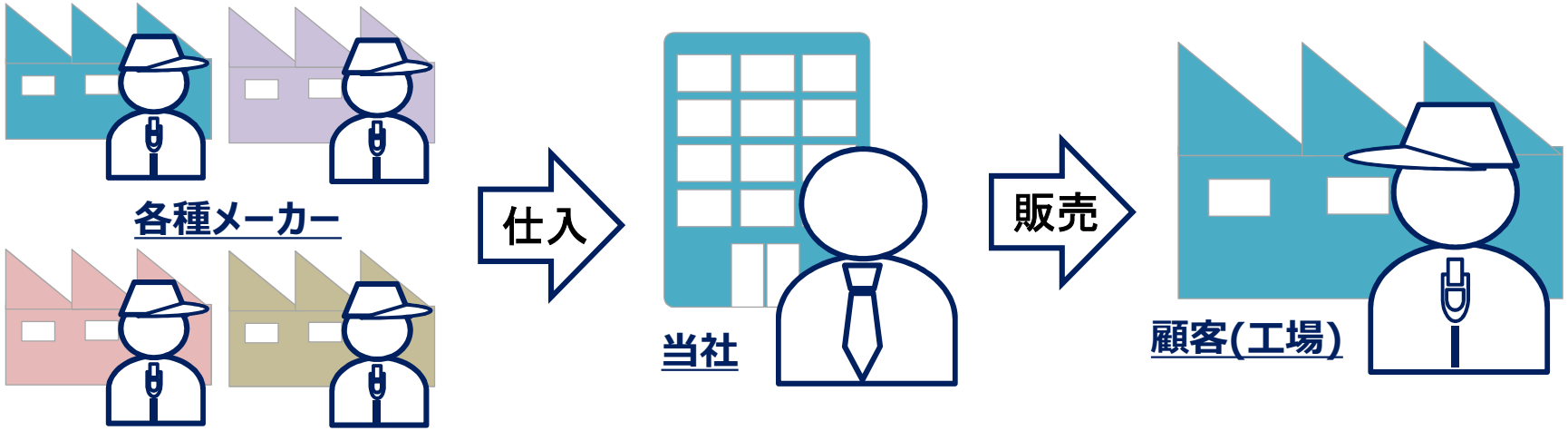


【主な出来事】

49年 硬貨式公衆電話登場
52年 東京証券取引所 設立
58年 東京タワー開業
60年 缶入りビール発売
64年 東京オリンピック
66年 ビートルズ来日
70年 大阪万博
73年 第一次オイルショック
79年 「WALKMAN」大ヒット
82年 テレホンカード登場
86年 「ファミコン」大ヒット
89年 昭和から平成へ
92年 バブル崩壊
95年 「windows 95」発売
98年 長野オリンピック
00年 ITバブル
08年 リーマンショック
08年 「iPhone 3」発売

ホーチミン
(ベトナム)

産業用エレクトロニクス・メカトロニクス関連の
装置・機器・部品を取扱う独立系技術商社です。



BtoB（Business to Business）
企業間取引を意味し、企業が企業に向けて商品やサービスを
提供する取引を指します。

サンワテクノスは電機・電子・機械の三部門を持つ独立系技術商社です。
お客様のニーズに最も適した幅広いシステムを提案致します。

電機部門

モーションコントロール、機械装置システムの
高付加価値化を実現するメカトロ関連ビジネス

電子部門

デザイン・インから製品の量産化まで、
きめ細かく対応する電子部品関連ビジネス

機械部門

クリーンロボットや物流搬送システム、
各種検査装置などの生産設備関連ビジネス

SUNWA

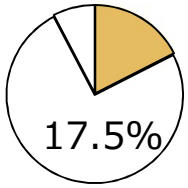
電機・電子・機械　三部門の主要取扱商品と主要顧客

■主要取扱い商品

■主要顧客

電機部門

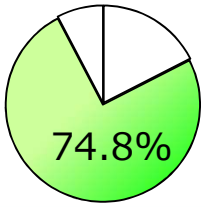
■売上高構成比率



パナソニックグループ
ニコングループ
ＳＣＲＥＥＮグループ
島精機製作所
ヤマハ発動機グループ
キヤノングループ

電子部門

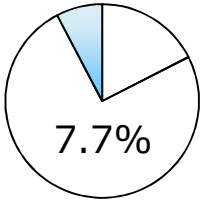
■売上高構成比率



安川電機グループ
オムロングループ
デンソーグループ
三菱電機グループ
ＦＵＪＩグループ
アイリスオーヤマ

機械部門

■売上高構成比率

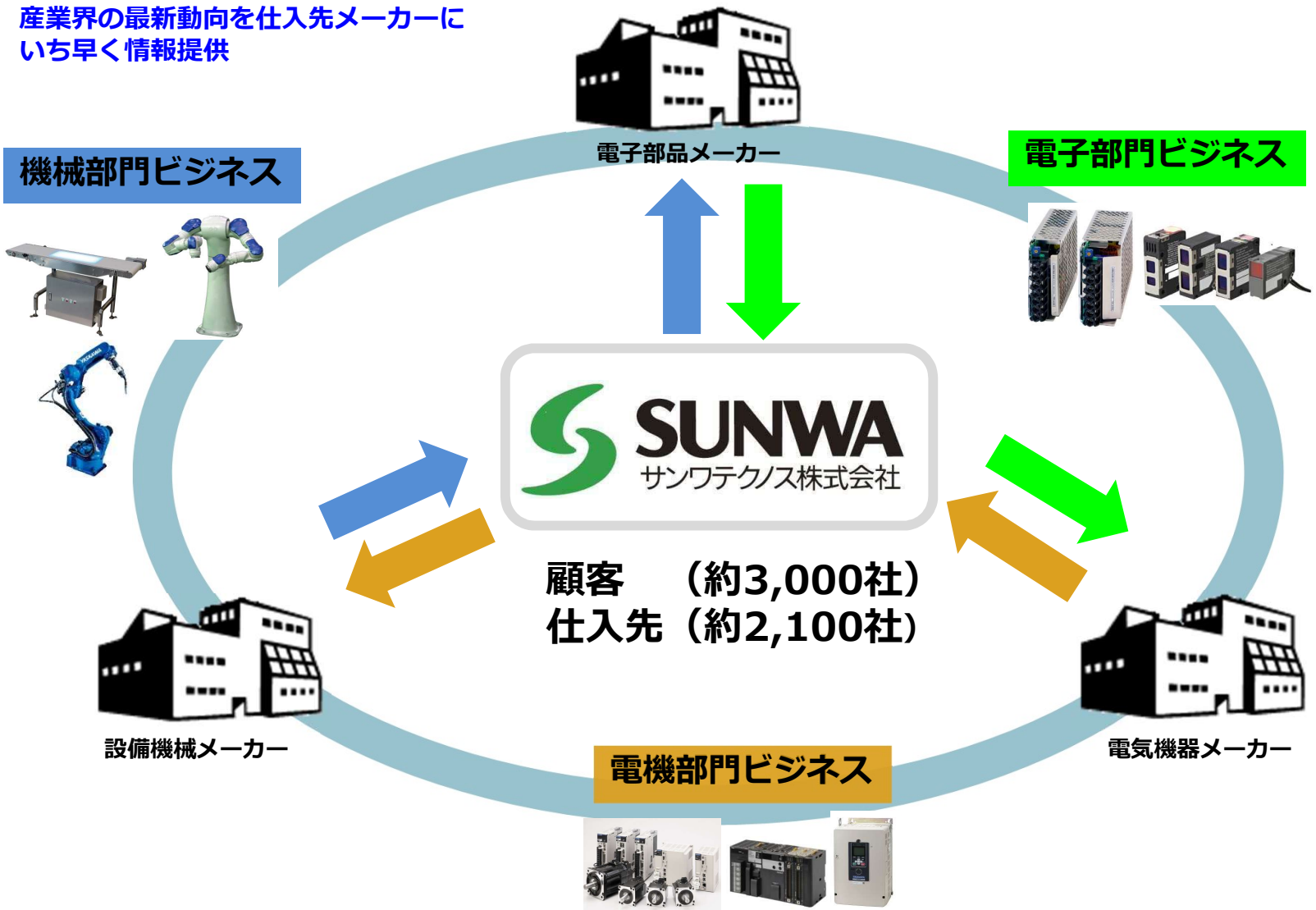


ＡＧＣグループ
デンソーグループ
パナソニックグループ
日清食品グループ
キヤノングループ
凸版印刷グループ

（売上高構成比率：2021年3月期第2四半期）

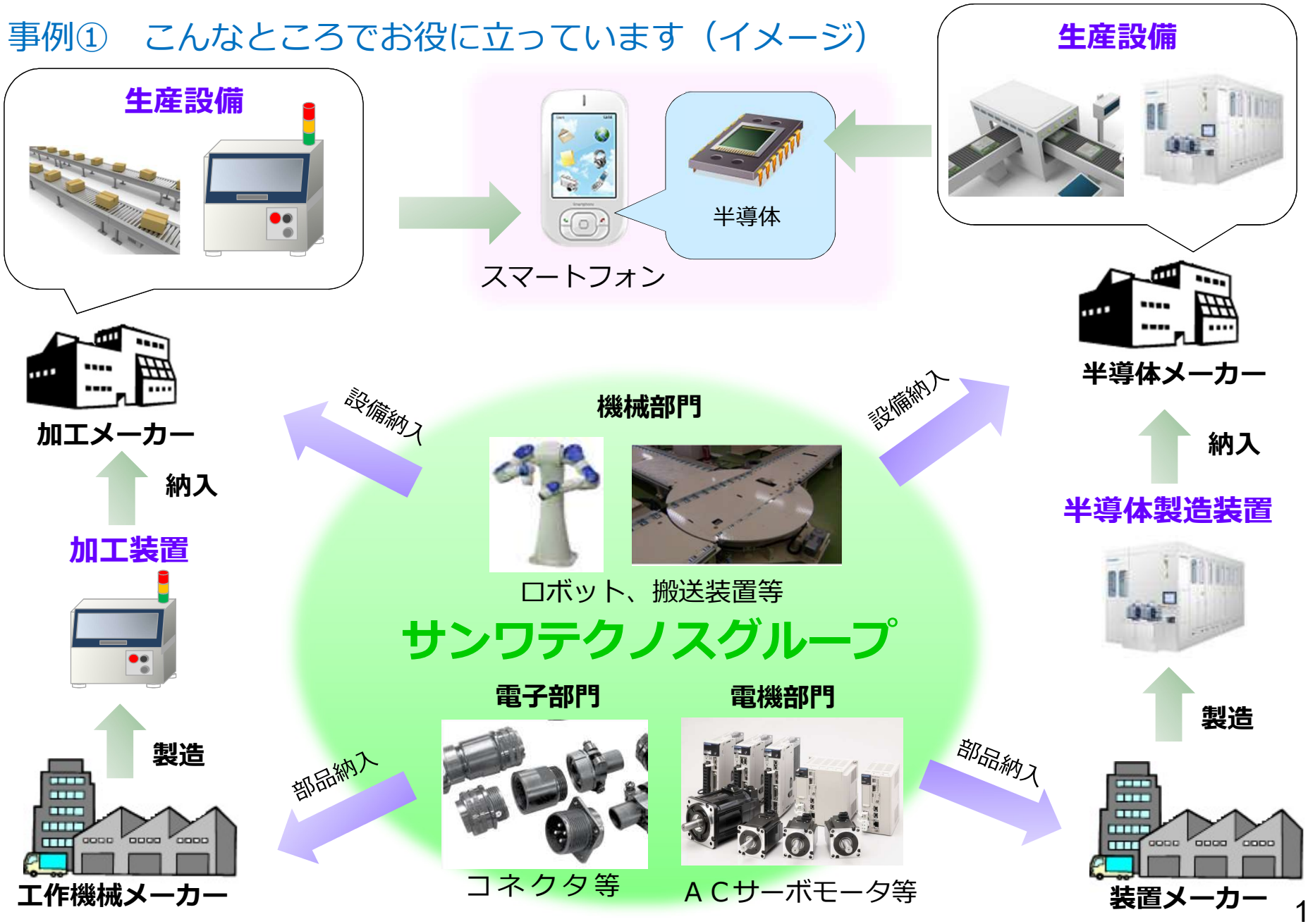
双方向取引による密接な信頼関係と強い協力関係

顧客であると同時に仕入先でもある大手企業と多数取引しています。



SUNWA

事例①　こんなところでお役に立っています（イメージ）

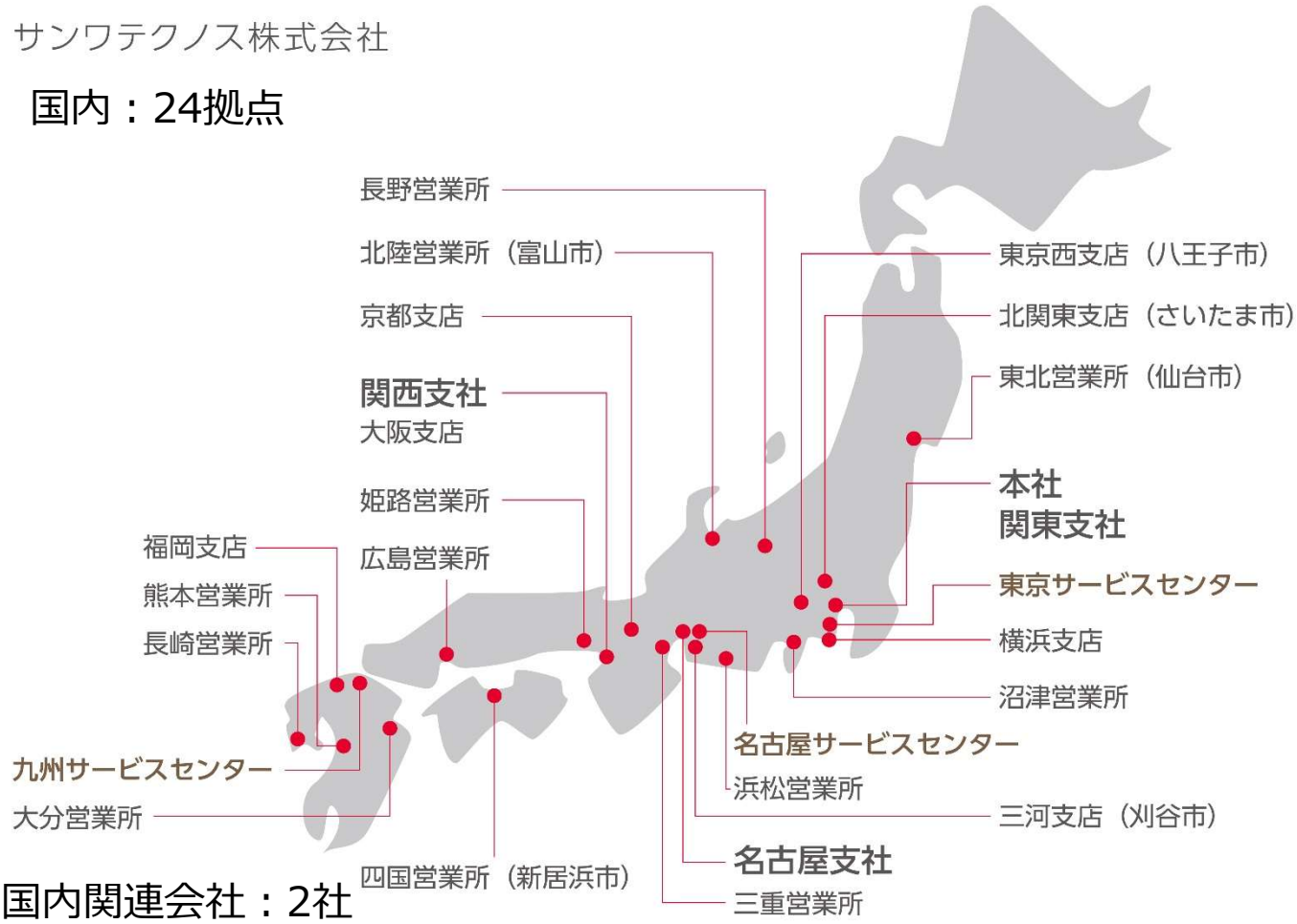


会社概要（サンワグローバルネットワーク）

国 内

サンワテクノス株式会社

国内：24拠点



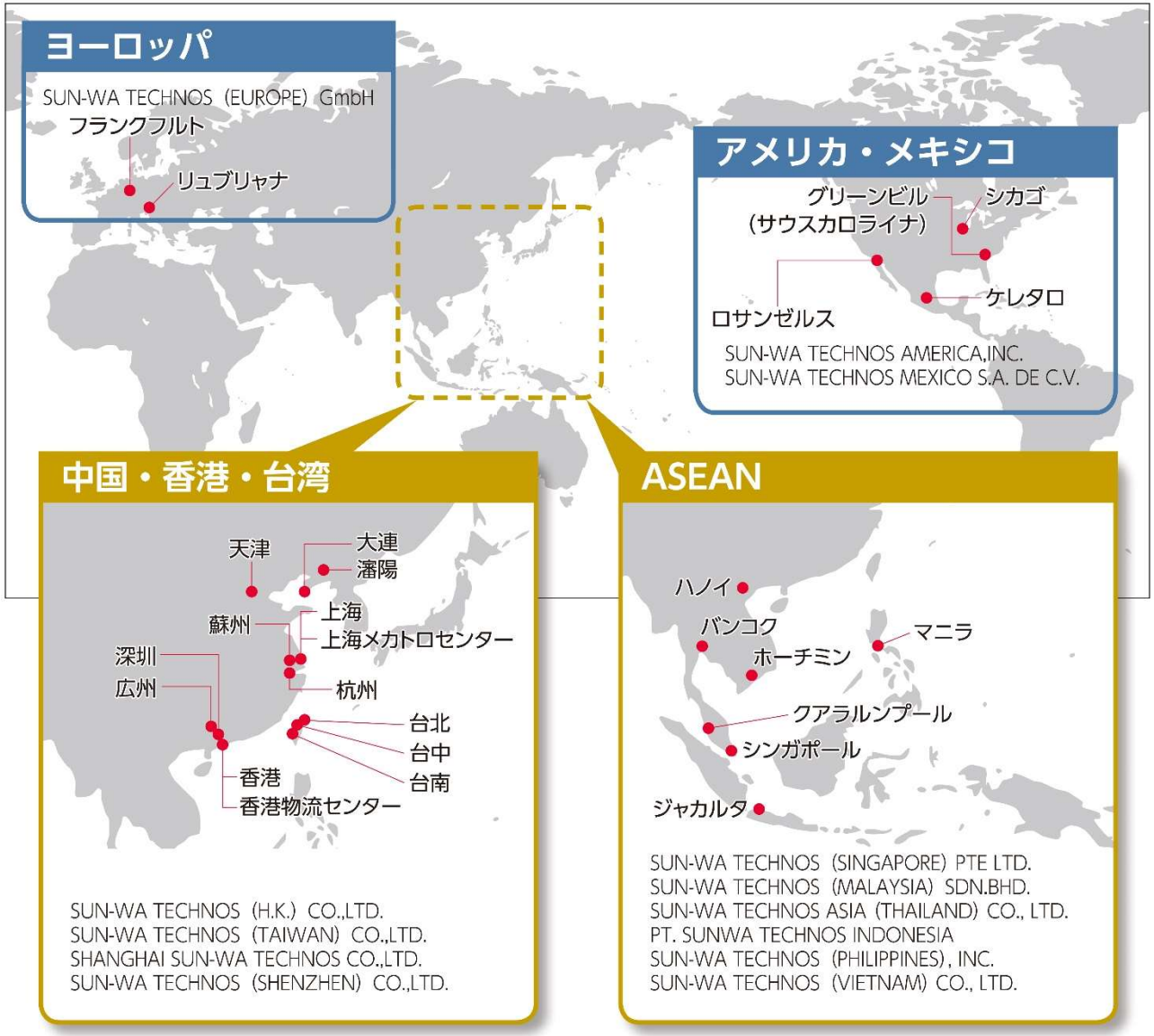
国内関連会社：2社

サンワトリニティ株式会社
サンワロジスティック株式会社

会社概要（サンワグローバルネットワーク）

海外：１3社　（２６拠点）

海外１拠点目としてシンガポールに現地法人を設立（1995年5月）



- 会社概要
- 第10次中期経営計画「NEXT 1800」（進捗）
- 業績について
- 株価・株主様への利益還元について

第10次中期経営計画（2019年度～2021年度）

NEXT 1800

2019年5月10日

サンワテクノス株式会社

代表取締役社長　田中 裕之

サンワビジョン 2025
明るい未来を創る サンワテクノスグループ

代理店事業

エンジニアリング事業

グローバル SCM
ソリューション事業

2021 年度
1,800 億円
NEXT 1800

2025 年度
2,500 億円

2019 年度　創立 70 周年のその先へ

独立系技術商社として進化を続け、成長を加速させます

NEXT 1800

方　針

1. コアビジネスの強化でお客様のものづくりに貢献する

2. グローバル事業を拡大し市場の需要をサポートする

3. 新事業領域へ挑戦し持続的成長を加速する

4. 持続可能な社会の実現への取り組み

1-① コアビジネスの強化でお客様のものづくりに貢献する

エンジニアリング事業について （イメージ図）

最適な部品、機器や技術を組み合わせ、システムで提供

エンジニアリング事業

仕入先

約2,100社

安川電機、オムロン
TDKラムダ、ミネベアミツミ
フエニックス・コンタクト
スタンレー電気、三機工業
他

協力企業

加工製作・施工

エンジニアリング支援

各分野毎に専任スタッフを配置し、幅広い知見から、仕様打合せ、構想取り纏め、設計など、ソリューション提案でものづくりをサポート

- ロボット
- ＩｏＴ
- 監視制御
- 自動認識
- 電機技術
- サポート

得意先

約3,000社

課題

- 工場の自動化
- 技術者不足
- 海外展開

など

1-② コアビジネスの強化でお客様のものづくりに貢献する

グローバルSCMソリューションについて（イメージ図）

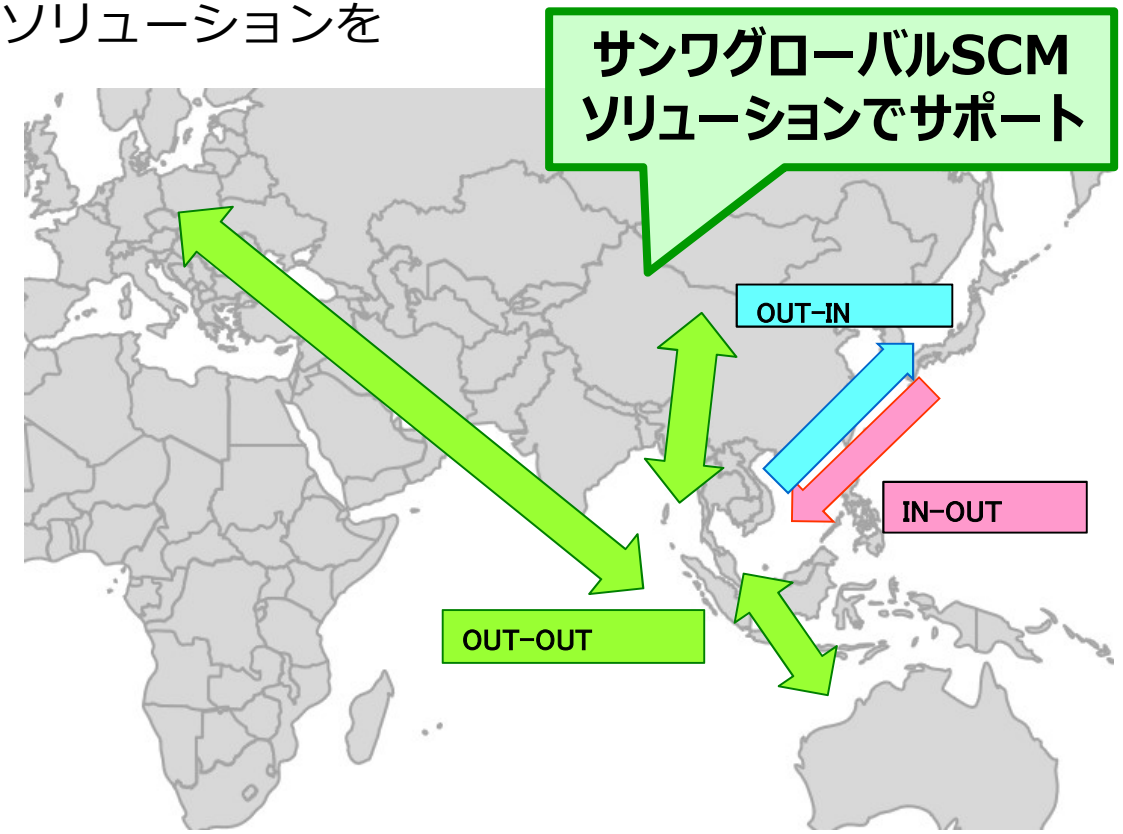
世界に広がる「サンワグローバルネットワーク」を駆使して、お客様の生産拠点の高度化、競争力向上を実現。
ビジネスを成功に導く「グローバル展開」をサポートします。

『最適生産・最適調達』 を実現するために、
お客様毎に最適のグローバルSCMソリューションを
設計・開発し、ご提案致します。

お客様の事業戦略を踏まえて

- **「最適生産、最適調達」、「グローバル展開」をサポート。**
- **弊社物流ネットワークを活用し、グローバルなモノづくりをサポート。**

- **お客様のものづくりをサポートし競争力向上を実現する付加価値の高いサービスを提供致します。**



SUNWA

2 グローバル事業を拡大し市場の需要をサポートする

◆マイクロ営業所の開設

中・小規模都市の優良顧客と『新しい密』の構築を目的に、
長岡、甲府、金沢【検討中】にマイクロ営業所を開設

マイクロ営業所・・・営業職数名だけの拠点、内勤業務は遠隔地よりサポート

3 新事業領域へ挑戦し持続的成長を加速する

◆経営人材の育成

Global Next Leader Training、100年を描く未来討論会、
ビジョン・中期経営計画策定委員会を開催

4 持続可能な社会の実現への取り組み

◆ICT活用による働き方改革

2018年のICT投資により、在宅勤務をスムーズに実施
ニューノーマルな働き方改革に柔軟に対応

◆SDGs勉強会を開催し全社取り組みを開始

4 持続可能な社会の実現への取り組み

◆コロナ禍における取扱商品の変化

新規取り扱い製品の一例

除菌・抗菌商品

空間除菌消臭装置
Aeropure（エアロピュア）

アイセーブ抗菌CCFL

電球タイプ

ダウンライトタイプ

直管蛍光タイプ

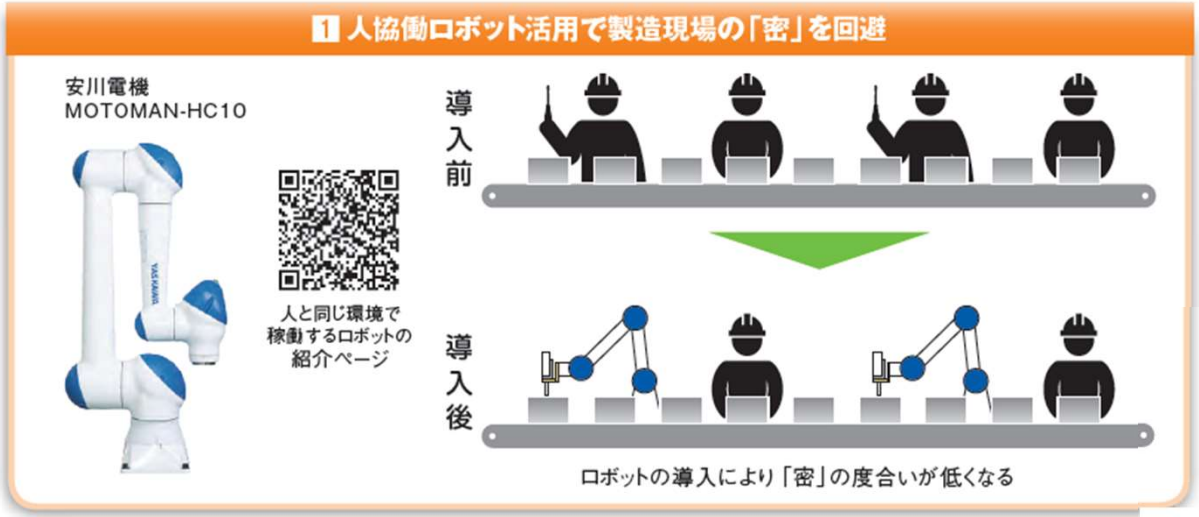
SUNWA

4 持続可能な社会の実現への取り組み

◆コロナ禍における取扱商品の変化

主要取引先メーカー　コロナ対策関連製品の一例

生産現場の「密」の回避



安川電機
人協働ロボット

オムロン
自動搬送モバイルロボット

- 会社概要
- 第10次中期経営計画「NEXT 1800」（進捗）
- 業績について
- 株価・株主様への利益還元について

連結決算の概要について

・前年同期比で**減収増益**

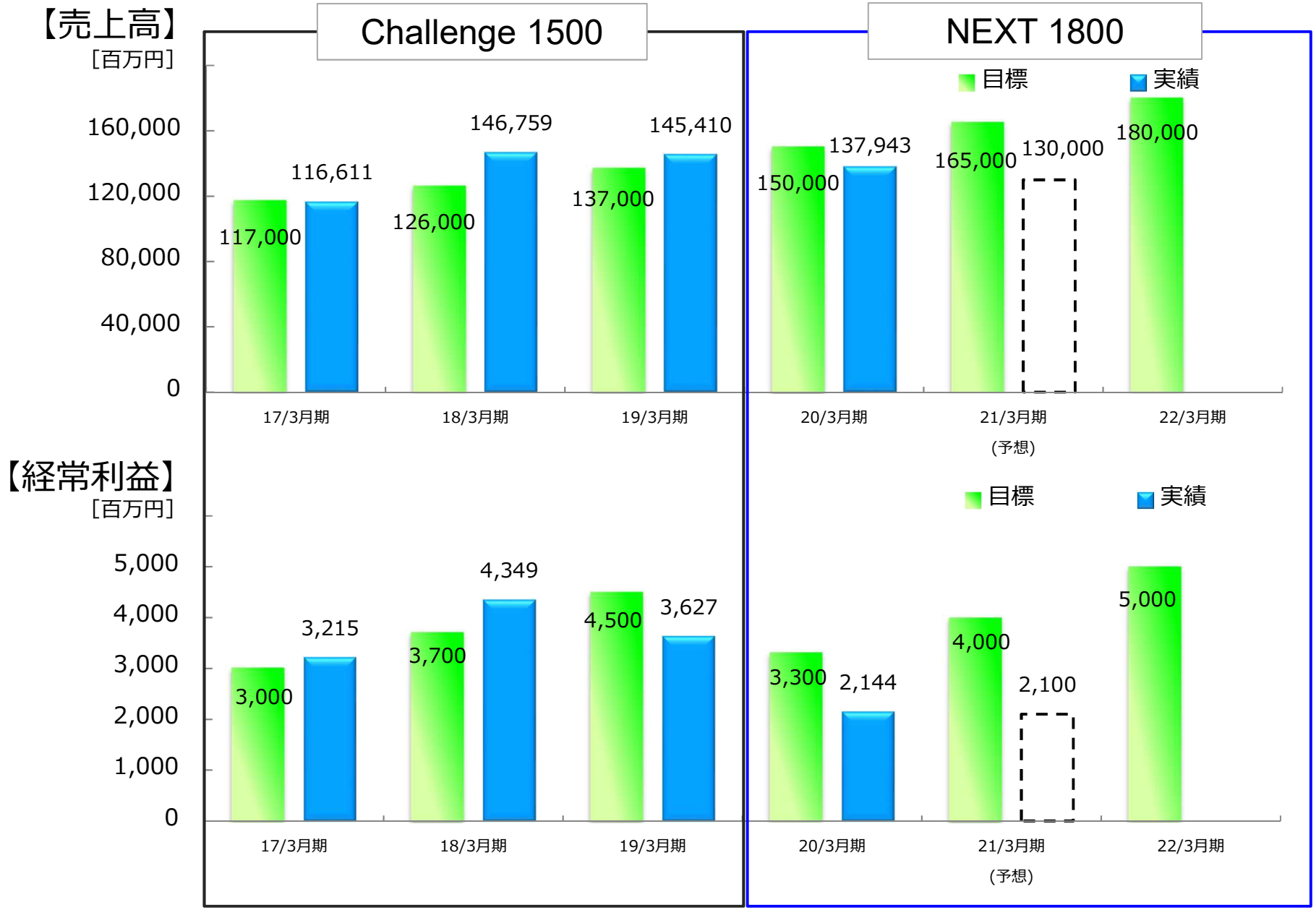
（単位：百万円）

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増減額	対前年同四半期増減率
売上高	67,608	61,813	△5,794	△8.6%
営業利益	909	900	△9	△1.0%
経常利益	1,036	1,020	△15	△1.5%
四半期純利益（※）	689	705	16	2.4%
1株当たり四半期純利益	42.97円	44.75円	1.78円	4.1%

【連結決算の概要について】
新型コロナウイルス感染症の影響で、製造業各社の工場の操業低下、設備投資の先送りなどにより、厳しい状況が継続いたしました。自動車業界の生産減少による影響はありましたが、半導体関連業界の受注回復、ロボットによる工場自動化に向けた設備投資、新型コロナウイルス関連商材の受注拡大、経費抑制政策などにより、減収増益となりました。

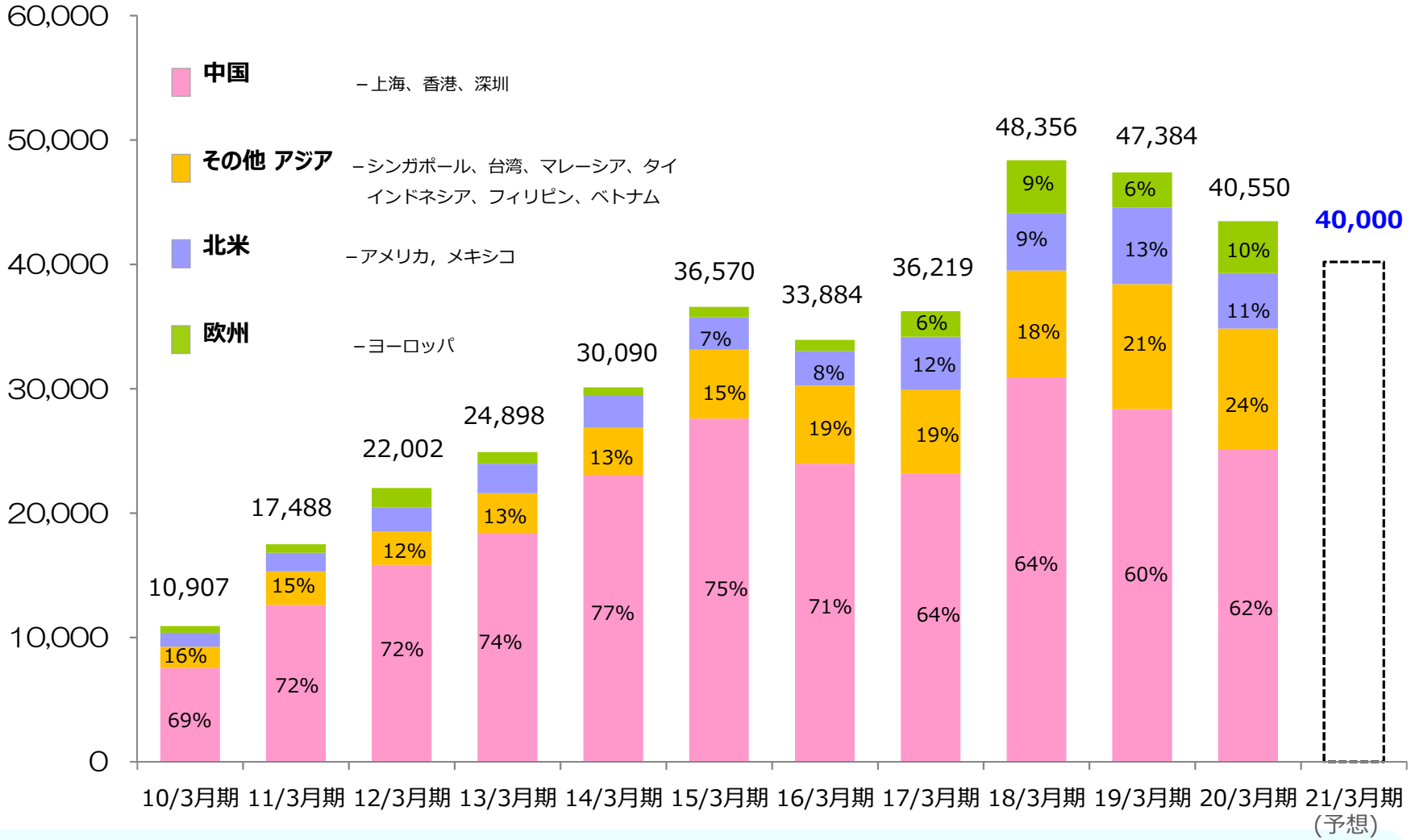
（※）親会社株主に帰属する当期純利益

（連結）売上高及び経常利益推移



（単位：百万円）

海外現地法人売上高推移



海外事業の売上高比率	19.7 %	20.5 %	24.5 %	28.2 %	29.7 %	32.9 %	32.0 %	31.1 %	32.9 %	32.6 %	29.4 %	30.9 %

- 会社概要
- 第10次中期経営計画「NEXT 1800」（進捗）
- 業績について
- 株価・株主様への利益還元について

株価・株主様への利益還元について

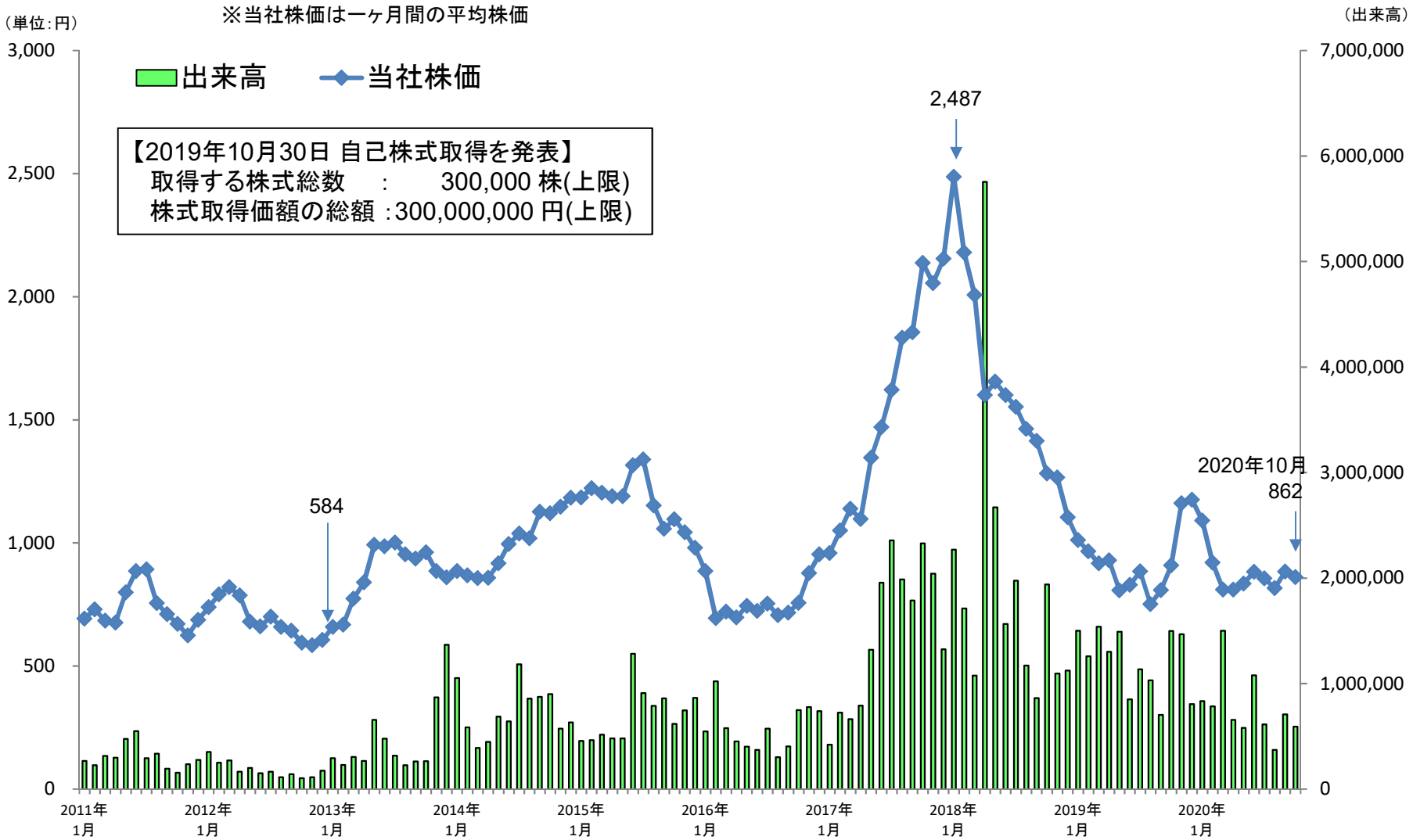
配当金の推移（連結）

期	1株当たり当期純利益	配当性向	中間	期末	年間
17年3月期	113.64円	24.6%	14円	14円	28円
18年3月期	222.65円	13.5%	14円	16円	30円
19年3月期	164.08円	20.7%	17円	17円	34円
20年3月期	84.11円	40.4%	17円	17円	34円
21年3月期（予想）	88.74円	38.3%	17円	17円（予想）	34円（予想）

当社は、株主の皆様に対して安定した配当を継続するとともに、業績の進展状況により今後も増配などを実施して行くことを目指して参ります。

株価・株主様への利益還元について

（ご参考）当社株価推移



以上のように、高い成長性・収益性・安定性を求めて
経営に努力してまいりますので、
今後も一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。
ご清聴、ありがとうございました。